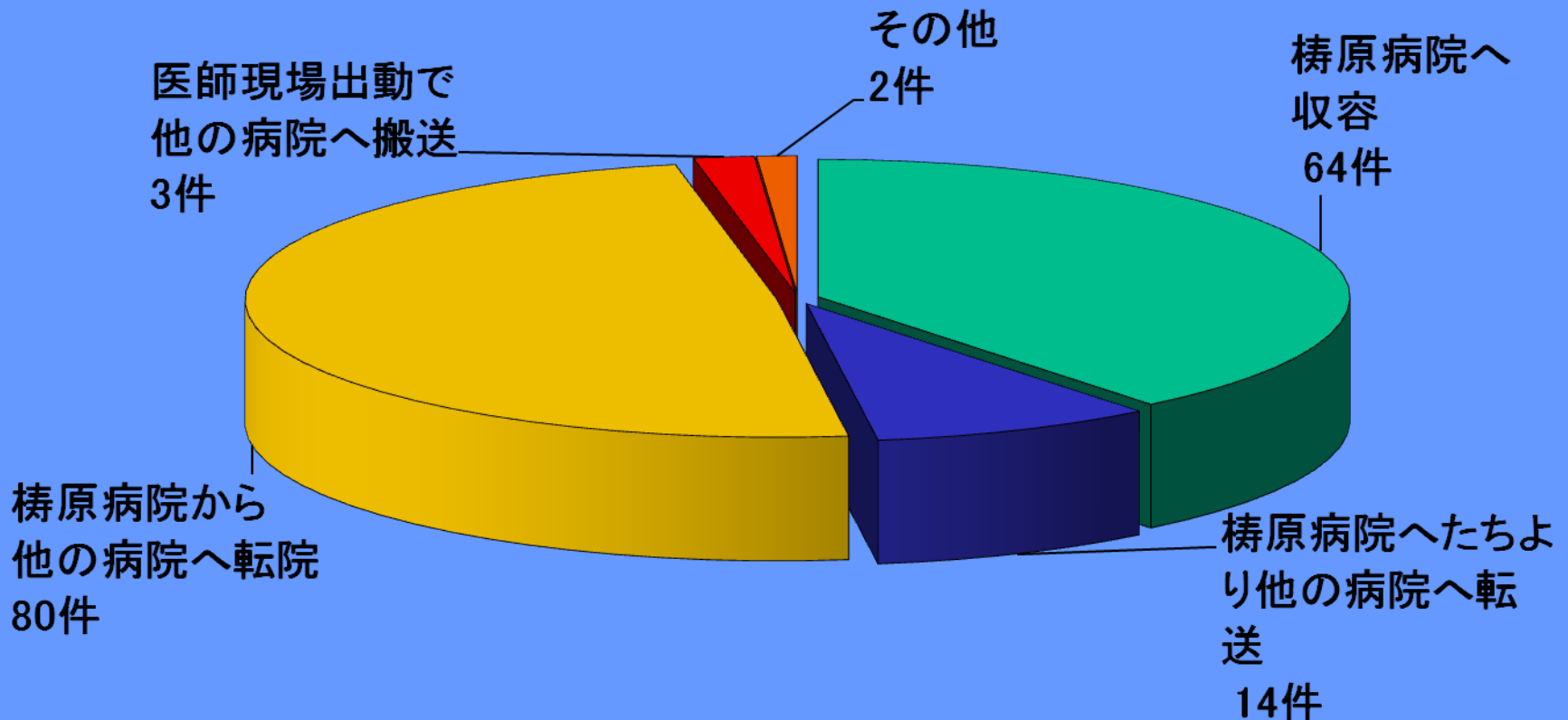


救急搬送の状況

99パーセントは栲原病院が関与している

栲原町内への救急出動=171件(不搬送8件)

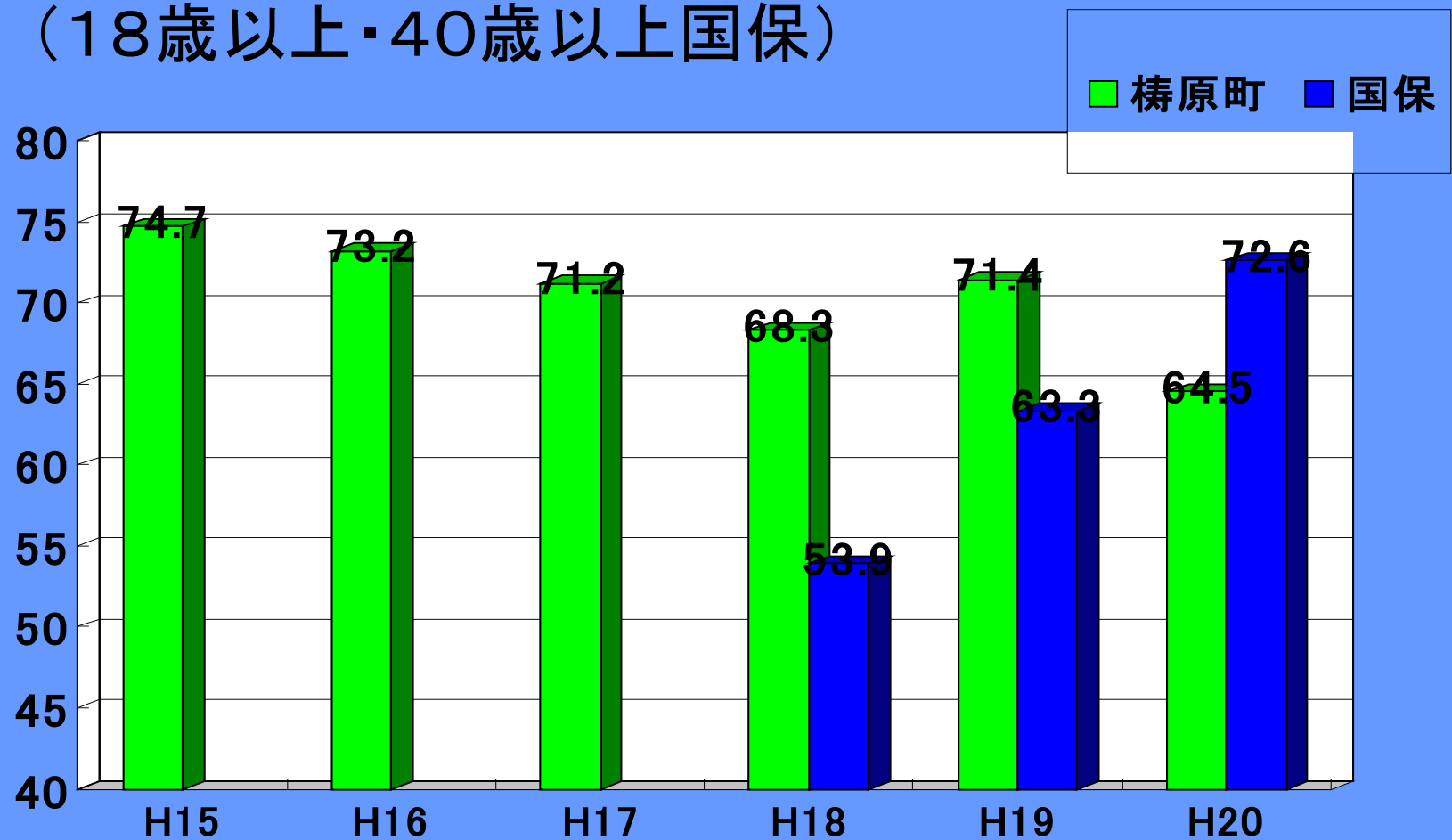
搬送件数=163件 (内162件栲原病院関与)



基本健康審査受診率

(18歳以上・40歳以上国保)

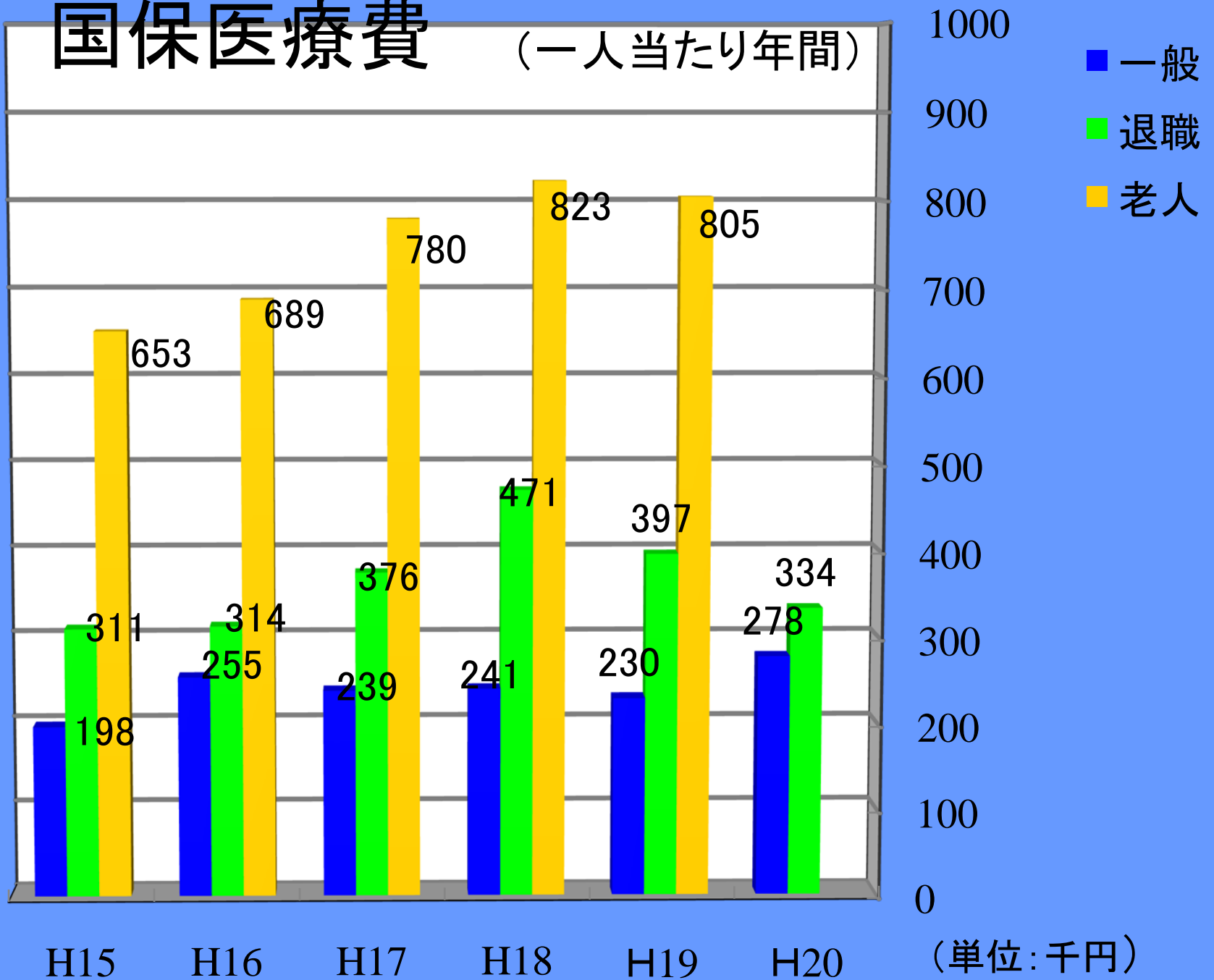
梶原町の健診対象者:
18以上社保本人以外



町国保の特定健診受診率(推計) H18 53.9% H19 63.3%

目指すのは、**80%**

国保医療費 (一人当たり年間)



(単位: 千円)

栲原の健康の現状

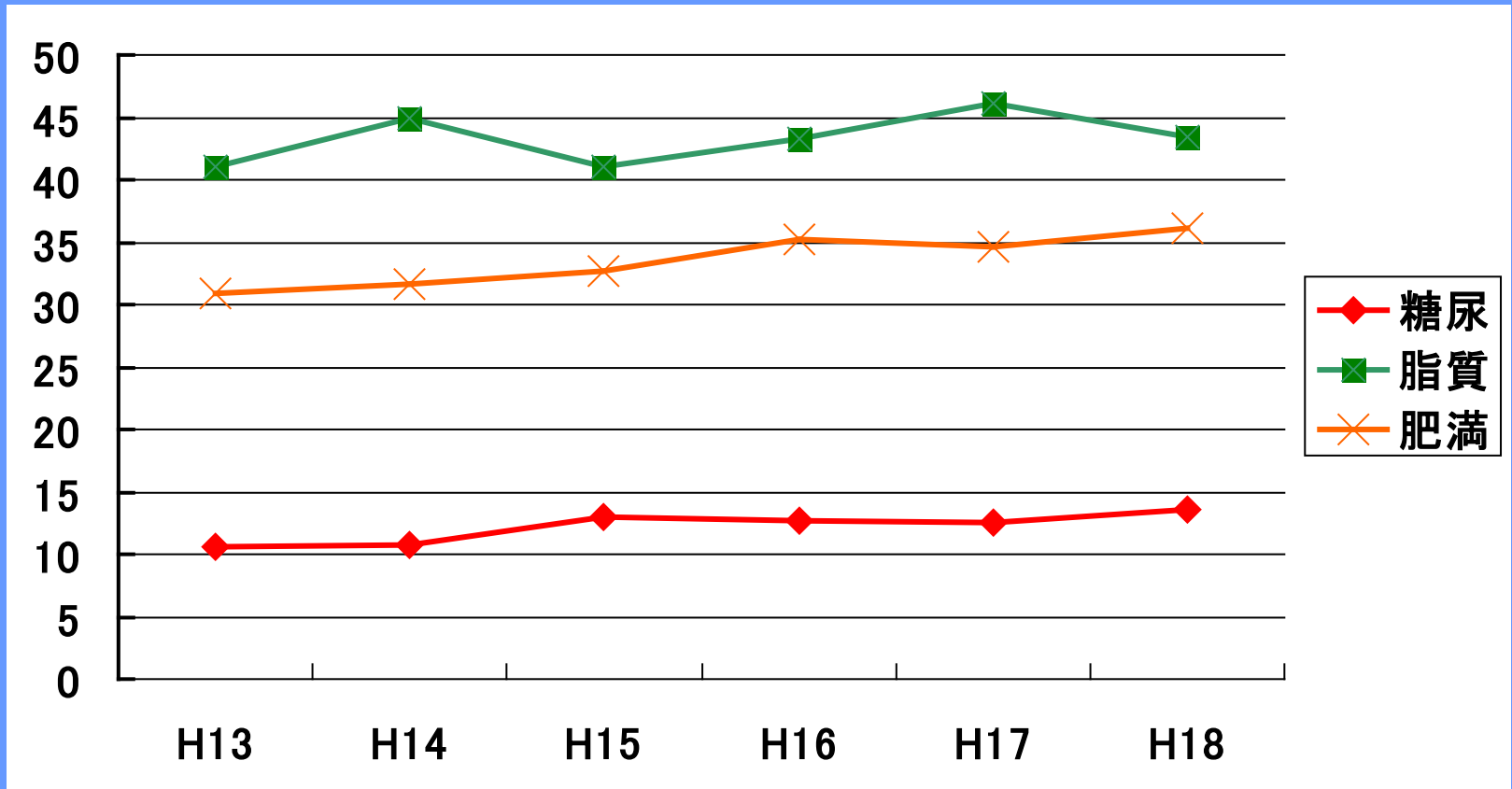
☆全国と比較した指標はよい。

- ・全死亡は全国より低位：標準化死亡比85、約1歳長寿
- ・メタボ関連死亡は全国と比較すると低位：心疾患標準化死亡比65(平成17年)

☆しかし、経年変化で見ると、悪化の一途

- ・国保レセプトで糖尿病患者の増加、心筋梗塞死亡の増加、糖尿病及び腎性腎臓病による人口透析の増加
- ・健診受診者の肥満者の割合が3割で県より高い。
- ・運動している人の割合が県より低い。
- ・野菜を食べる割合が年齢が下がるごとに低下

健診における生活習慣病予備軍の発生率の推移



梶原の原因別死亡数の推移

原因	‘74-83の 10年	‘95-04の 10年
脳出血	84人	32人
脳梗塞	47人	63人
急性心筋梗 塞	22人	40人

疾病構造の変化←生活習慣の変化(欧米化・手軽さ・安易化・車社会)

梶原町のこれまでの取り組み①

国保生活習慣改善モデル事業

(平成13年度～平成16年度)

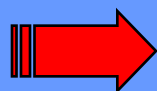
保健事業の本格的な評価

**健康長寿な町の要因が
明確になった。**

- ・よい自然環境
- ・健康な食事と生活習慣
- ・人と人のつながりある。
- ・これまでの保健医療活動

健康課題も明確になった。

- ・脳出血が多い。
- ・働き盛りの男性が早世
- ・人と人のつながりが薄れている。
- ・優れた生活習慣が若い世代に引き継がれていない。



健康長寿の里づくり計画